

令和4年5月 教育委員会定例会議事録

- | | | |
|----------|----------------------|------------|
| 1. 日 時 | 令和4年5月20日（金） | 午前10時30分開会 |
| | 令和4年5月20日（金） | 午前11時30分閉会 |
| 2. 件 名 | 河南町教育委員会定例会 | |
| 3. 開催場所 | 河南町役場 3階 301・302 会議室 | |
| 4. 出席委員 | 教 育 長 | 中川 修 |
| | 教育長職務代理者 | 西川 幹雄 |
| | 委 員 | 藤原 充 |
| | 委 員 | 高井 美恵子 |
| | 委 員 | 杉田 みはる |
| 5. 事務局職員 | 教・育部長 | 湊 浩 |
| | 教・育部副理事兼指導主事 | 内山 裕生 |
| | 教育課長 | 中海 幹男 |
| | こども1ばん課長 | 山田 恵 |
| | 生涯まなぶ課長 | 森 弘樹 |
| | 給食センター所長 | 梅川 茂宏 |
| | 教育部教育課課長補佐兼指導主事 | 柏木 俊介 |
| | | |

(審議内容)

教育長	<p>こども園は4月1日から始まっておりまして、はや2か月が経とうというところになりました。私は小学校の勤務が長かったので、月より、第何週目と考えます。それでいくと、小中学校入学式始業式からすると、大体7週間。1学期は13から14週あるのですが、そういう意味でも、もうはや半分ぐらいという感じです。</p> <p>コロナの感染状況については、決して終息したわけではありませんが、皆さんも、ゴールデンウィーク等も含めて3年ぶりというキーワードをよく耳にされたのではないかと思います。</p> <p>学校園でも、この時期、校外学習をこの2年間はなかなか実施できなかった。ところが今年については、どの園についても、当然引き続き必要な感染予防策を講じた上で実施を始めておるところでございます。</p> <p>また、去年はまだできてなかったのですが、こども図書館祭りが4月21日に開催されました。私も見に行かせていただいたのですが、たくさん子どもたちが、保護者さんも含めて参加していただいて本当にうれしく思っております。</p> <p>そんなふうにして、できることはこれからも、今年はやっぺいこうという意気込みで今始めておるところです。</p> <p>例年5月といえば、ある意味子どもたちの本当の姿が見えてくる時期だと思っております。4月はどうしても頑張ろうという気持ちがあって、スタートダッシュする。見えてない部分があったとは思いますが、5月というのは、そういう意味ではいろんな子どもの様子が見えてくる。周りの大人がそのこと</p>
-----	--

	<p>に十分に気をつけて、寄り添う行動であるとか或いは言動、これを心がけるとともに、関わる大人が複数で共有していくことが大切であると考えています。そうしたことは、校長会、教頭会、それから園長会を通じて連携の確認もしているところです。</p> <p>本日はご案内させていただきました通り、定例会終了後に給食の試食を行いたいと思っております。</p> <p>また午後2時からホテルアウィーナ大阪で、令和4年度大阪府町村教育委員会連絡協議会の定期総会及び研修会が開催されますので、ご出席のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは初めに、本日の定例会につきまして、傍聴の方はおられません。次に本日の出席者は5名です。</p> <p>定足数を満たしていますことをご報告いたします。</p> <p>次に、会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、杉田委員に決定してよろしいでしょうか。</p>
委員全員	異議なし
教育長	<p>ご異議がないようですので、会議録署名委員は杉田委員に決定いたしました。それでは、2、諸報告、その他に進めさせていただきます。</p> <p>まず、「(1) 学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて」、事務局の説明等を求めます。</p>
事務局	「(1) 学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて」資料に基づき説明
教育長	この件について何かご質問はございますか。
委員	<p>このマニュアルの17ページを開いていただけますでしょうか。(3) 抵抗力を高めること。免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動及びバランスのとれた食事を心がけるように指導します。</p> <p>また、予防接種の新型コロナ感染症の発症や重症化予防等の効果が期待されます。これは非常に大切な部分でありながら、簡素化的な説明しかありません。私もよく自己免疫を高めるっていう、いろんな異業種交流会で話しているのですが、この自己免疫を高めるためには、日々の生活でどうすればいいかということをやはり、情報共有しなきゃいけないのです。このままだったら何をすればいいかわからないですよ。</p> <p>自己免疫を高めるためにはどうすればよいか、具体的に日常生活でどうすればいいか全く見えない部分があるので、やはりせめて学校の体育指導の先生方とか、栄養管理を監督される栄養士の先生方、学校の管理職の皆さんには、情報共有をお願いしたいと思ひまして、僕の師匠である三浦一郎さんがこんな本</p>

書いています。人は歩けば歩くほど若返るという本があるのです。

この三浦さんがおっしゃるには、人間というのは、平均体温が1℃下がると免疫力が30%落ちます。

逆に体温が1度上がると免疫力は60%が活性化するという臨床データが出ています。次に、体の7割を占めるのが、下半身の筋力です。私たちの体の7割は下半身の筋力で占めている。

特にカルシウムを定着させるためには、ビタミンDも欠かせない。太陽の紫外線を浴びることによって、人間の体っていうのは、ビタミンDができるように組織づくりされているのです。カルシウムたっぷりの食事をして、ウォーキングで太陽の光を浴びることが、骨密度をさらに高める。さらに太陽の光はここののです。睡眠に欠かせないメラトニンの分泌も促進するので、夜ぐっすり眠れるというダブルの効果も期待できる。

だから指針にありますけれども、十分な睡眠って書いていますが十分な睡眠を取るためには、夜遅くまでスマホをいじっていたら眠れないですよ。スマホってのはすごく悪い影響があつて青い光を浴びると脳神経がすごく、いわゆる興奮してですね。眠れなくなるのです。青い光は。だからそういうことになるので、十分な睡眠をとるためには、簡単に言うと、太陽の紫外線を浴びながらビタミンDのサプリなんかをしっかりと噛んで、近所の山々とか近所の家の周りを、安全なところをウォーキングする、それだけでしっかりと熟睡できる。

そういうことを現場の先生方にわかっていたきたい。

僕のかかりつけの医師の話によると特にメタボの人は、午前10時まではあまり激しい運動しちゃいけないらしいというのも、明け方から朝にかけては体がまだ目覚めたばかりで、脳の働きや血液の循環が悪く、ストレスがたまる時間帯。そこで激しい運動をしてしまうと、交感神経の働きが急激に高まる。すると血液が一気に流れ出し、心筋梗塞や脳血栓を起こす原因となる。

朝のジョギング中に亡くなる人が多いのも、このせいだということで、こういうことさえご存知じゃないウォーキング・ランニング愛好家とかいらっしゃる。だからこれも非常に自分の身を守るうえでは大切な部分の説明になります。

ジュースやはちみつ入りの飲み物など等を飲み、糖分を補給しておく、脂肪が燃えやすい。筋力が少なく脂肪が多いメタボの体の方は脂肪を燃やさないといけない。そのためには、糖分をしっかり体に吸収しながら歩くという作業すれば脂肪が燃えていきます。

こういうことを書いていらっしゃるの、この17ページの自己免疫力を高めるというところの、具体的にどうすればいいかという how-to について現場の体育主任の先生方を含めて、校長先生教頭さんの方に、この情報共有していただければありがたいと思います。

教育長

ありがとうございます。

事務局

貴重な情報いただきまして、学校の方に周知をさせていただきます。

教育長	<p>その他のご質問とかございましたか。よろしいですか。 ほかにないようでしたら、次に（２）その他ですが事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>本町の教育指針等に基づきまして各小中学校が作成しました教育計画の方が届きましたので、お持ち帰りいただきまして、ご指導よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
教育長	<p>他にございませんでしょうか。</p>
委員	<p>ちょっと興味深い話題があつたので、ちょっと時間をいただきたいのですが、ピークエンドの法則って皆さん聞かれたことありますか。</p> <p>ピークエンドの法則。あるところで見ただけですが。ホテルが、朝食にすごい力を入れて、グレードアップしたらリピーターが増えた。これはピークエンドの法則といい、私たちの記憶や印象に残るのが、一番感情が高ぶった時がラストに来た時に、すごくいい印象で終わるのです。</p> <p>だから、終わりの出来事だけで、全体的な影響がものすごく決定づけられる。だからホテルに泊まって、朝ものすごくよかった。いいホテルだったということで、また行こうかって。ビジネスとか、営業とか、時々不祥事の会見でも、最後ピークエンドの時に、よい印象で終わるか、悪い印象で終わるかによって、すごく内容が変わってくるという話です。</p> <p>例えば、ディズニーランドにいて、２時間～３時間待つてわずか５分間の内容を見て、それがよかったね。２時間、３時間待ったことは全然不快にならない。行ってよかったと。それがもしもそのピークエンドの内容が、ちょっとお粗末やったら、「なんだったんだ、今日のは」ということになるという、こういうのがねピークエンドの法則っていつてね、だから何かビジネス界では、相手と交渉する時に最後の印象でとても大事やというお話なのです。</p> <p>特に、子どもたちが、教育長、よくご存じですが、特に小学校の場合は終わりの会というのをよくやるのです。子どもたちね、今日一日どうやったとかね。</p> <p>子どもたちはその日、例えば授業中に先生に怒られたとか、或いは友達とちょっと喧嘩したと言うことがあつても、非常にさわやかな気持ちで１日を終えることができる。このピークエンドの法則を見て、ちょっと強く感じたのです。</p> <p>一つ面白いのが、１４度の冷たい水に６０秒つけた。その時の不快感度を調べたら、８．３４だったと。今度は冷たい水に１４℃、６０秒つけて、そのあと１５℃と１度だけ上げた水に３０秒間つけた。</p> <p>すると不快感度が５．６ぐらいに下がった。ということは、最後の印象が、全体を大きく作用しているというような法則なのですよ。</p>

だから、学校教育にも、先生方も子どもたちに当然叱ることもあるし、子どもたちも喧嘩することあるけども、最後、子どもたちが明日元気が出るような、終わりの会、明日の会にしたら、うまくいくのではないかと感じました。

子どもたちのモチベーションをちょっと高める一つの方法として面白いと感じました。

委員

委員のおっしゃる通り、どの分野にも共通するテーマです。わたし達のビジネス界でも、ミーティングが多くあります。ミーティングのやり方で、やはり一番気を付けないといけないのは、例えば30分ミーティングの中で最後で、バーンと怒って怒り爆発で終わってしまうと、これ最悪の会議になるのですよ。もう誰もモチベーション上がらないのですよ。もうこんな会議も二度と出たくないってなってしまうのです。

そのようなことを無くするためには、本当に怒り爆発的なものであるんだしたらその当然その怒る側のリーダーを押さえるべきなんだけど、最初にもうボンとってしまう。で、中段に、なぜそういう成果になったのか、悪い成果だったのか原因を究明する。

その悪い原因の究明ができれば、それをうまくプラス思考の方に持っていくためにはどう改善すればいいのかということを経験に、一番最後に褒めていく。じゃあ、この部分君はこの部分が弱いからこうして改善して頑張ろうねというような、励まして褒めていくっていう形でやっていると、みんなよしやろうというようなモチベーションが上がってくるのですね。

わずか30分のミーティングでもそういう流れを考えてやっていかなければいけないと思います。

委員

とても大事なことで、実は先生の中に、加点法の先生と減点法の先生がおられます。加点法というのは、1週間頑張って、今日は頑張ったから2点あげましょうと、良く頑張ったけども1点かなとか言って、頑張ったことを評価して点数を上げて行って、1週間溜まって何点かになったら、シールをあげて子どもが喜ぶのですよね。6年生でも喜ぶのです。今日は金のシールをあげるわとかね。子どもたちのモチベーション上がるのですよ。

それも一つの子どもたちの指導の方法だけど、残念ながら、減点法を使う先生も、時々あるのです。だから僕はよく注意したのです。それは駄目だよ。やっぱり子どもはモチベーション上げるには、加点方式でやってあげると。だから今のお話のように最後にね、しっかり得点がもらえるようなやり方が大事だなと、常々考えてるのです。

でもついつい最後、終わりに怒って帰らせますね。先生、なんで俺だけ怒るということがありますのでね。そういうちょっとしたことですけども、参考にしていただければと思います。

教育長

ありがとうございます。おっしゃられる通りですね。

	<p>実際やっている人もたくさん見てきましたし、改めて次の機会でも、伝えていきたいなと思います。ありがとうございます。他、何かございませんか。</p>
委員	<p>日本遺産について、もっともっとアピールして河南町に人を呼び込む、あそこだけじゃなくってこんな文化的遺産がありますよってというようなことをやってないのかなっていうのを聞きたいです。</p>
事務局	<p>日本遺産については、具体的には地域外の町外の若者とか、第三者的視点を取り入れて、考えていこうと思っております、実際、阪南大学の学生、国際観光学科の学生に河南町に来ていただいて、道の駅とか金山古墳を見ていただいてどういうふうに今後、どのように活用していくか、去年、2回、フィールドワークをいたしました。</p> <p>学生がまとめていただいたものを参考に、町がどういう方法がいいのかというのを今考えている途中でございます。</p> <p>具体には町の日本遺産の2つの共通化と史跡を組み合わせ、散策道、そちらの方を創造していきたいという流れであります。</p> <p>その散策ゾーンをデジタルマップで報告の場面みたいな形で、スマホを持って、回っていけるような形でできたらな、というふうなことを考えて、今進めている途中でございます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。楽しみにしています。</p>
教育長	<p>行政から発信してないことはない。河南町の良さとして、アピールはしているのだけれど、なかなかそれが民間のようにどんどん行かない。けれど、これからの時代もSNSですから、それをどう活用していくかというのは、我々も考えていく必要があります。そういう意見を、出していただくことは非常にありがたいです。参考にさせていただきます。</p> <p>他何かございますか。ないようですので、以上をもちまして、本日の議事日程はすべて議了いたしました。</p> <p>これをもちまして5月の教育委員会定例会を閉会いたします。</p> <p>次回、6月の定例会は令和4年6月28日午後2時からの開催といたしますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは本日はありがとうございます。</p>

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名